

# 可部カラスの会

事務局 安佐北区亀山南二丁目1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

http://www.ha.dion.ne.jp/~karasukb/

第91号 平成17(2005)年8月15日

## 武吉 結納もって舟くだり 8月21日

### 婚礼は9月4日 横川で

一目見たとき好きになったのよ。男女の仲によくある話。かよこと武吉もそのパターンと全く同じなんです。が、何はともあれおめでたいことです。

8月21日(日)武吉とご両親は“結納の儀”に向けて、横川までの旅に出ることになりました。明神公園で舟旅の無事を祈願する「安全祈願祭」は三入神社の宮司さんをお願いする予定です。



乗り組むのは終生の夫婦を約束した?武吉役の本田先生(文教女子大)、付き添う父親に竹本さん、母親役に田中(加)さん、船頭は川舟の持主である中本保険事務所の中本さんの面々です。

## 目指すは横川の大雁木

太田川橋上流を出発した舟は高瀬堰を通過して、恋しい武吉さんの到着を首を長くしてかよこさんが待っている横川へ向けて出発。途中手づくりの筏で川くだりをする“カワニバル”のメンバーと合流の予定もありますが、本物の川舟と、発泡スチロールの筏ではスピードの差は問題にならないでしょう。

大芝水門を抜けると横川の大雁木(舟の荷物を揚げおろしするための石段)はすぐそこです。武吉を待ち受ける大雁木には水面に8畳の座敷がしつらえてあります。「努力すりゃあ、やってできんことはなかろうで」が信条の横川の連中、水の上に座敷をこしらえてしまうんです。

無事婚約が成立してほっとするご二人にとって、この感激は終生忘れることのない経験でしょうね。

待たれる9月4日(日)午前9時半から横川駅前での結婚式。新しい家庭のスタートです。

## 新しい町を示す二人の結婚

「ここは串本、向いは大島 仲をとりもつ…」と唄

う串本節のように横川と可部が手を組んで、間の祇園が中継点、新しい家庭のスタートは新しい広島市の出発点と位置づける横川と祇園の皆さんとともに、楽しいまちづくりができればいいですね。

### 定例会じゃあ、こがあな話をしたんよ

7月27日(水) 参加者 10名  
報告事項

・明神祭(チンチロビッツ) 7月16日

場所最高、来年も駅前を確保したい

電気技術者がほしい一人でキリキリ舞い

協力者から電源供給の要請を検討したい

短冊のアイデアはよかったがPR不足

武吉の結納川下り

結納の儀は横川の大雁木で実施

川舟の手配、水漏れをチェック

武吉を探せ(8月10日に結納を)

緑井天満屋で可部の産物販売コーナー開設

8月15日〜21日 古い可部の写真展示

設置と写真説明にカラスも協力

8月10日(水) 参加者12名 オブ2名

安芸高田市向山のイベント8月1日

新澤夫妻、寺本、田中が参加。楽しかった

かよこの嫁入り祭可部決起集会開催

7月31日 商工会館で。

パレードでカラスの役割は資料どおり。

パレードは設定した時間で無理?は要検討。

メンバー配置を再検討

可部会場の両親 辻さんと友近さん

武吉 イベントを通じて、文教 本田先生

緑井天満屋店の可部の物産展と可部の写真展

8月15日(月)〜21日(日)カラスも「可

部の町今昔」で写真を紹介予定。

武吉の結納の儀 8月21日(日)

詳細は本文記事で...



# 歩行者天国でパレード

## 9月4日 旧街道で

9月4日(日)旧街道に沢山のグループが集まって、かよこの嫁入を祝って賑やかに行進しようという計画が本物になります。

実行委員会には可部町商工会、可部夢街道まちづくりの会、可部カラスの会、それに安佐北区役所も参加し、旧街道を歩行者天国にしてパレードをやるという企画です。

もともとこの企画、広島市が提唱した地域の特性を生かしてその魅力を紹介、ひいては町の活性をはかる「八区覧会」なんです。

昨年レトロバス(現在かよこバス)で賑やかになった可部と横川。それに今回は祇園も加わって、西区、安佐南区、安佐北区と連携、主人公のかよこと相愛の武吉を結婚させて、横川から可部までバスと新婚カップルを紹介するという、大きなイベントになってきました。

## 横川で結婚式-旅行は祇園 そして可部へ



昨年のレトロバスのイベント

9月4日9時半、横川で結婚式を挙げて、安佐南区がハネムーン。そして武吉の生れ育った可部で花嫁の披露をすることになりました。

横川で二人の結婚を承認した秋葉広島市長さん等に見送られた新婚ホヤホヤのご両人、10時半に横川を出

発してハネムーンの車に。ついたところが祇園会場。ここでも皆さんの祝福を受けて可部には午後2時45分到着の予定。明神公園では結婚の祝辞に続いてかよこ・武吉を文教女子大付属高校の祝い太鼓が迎えます。

そして3時15分、いよいよ歩行者天国でのかよこ夫妻の顔見世パレードが始まります。明神社前から北上して白石酒造の前までの往路は古式豊かな行列。

復路は若者らしく活発な動きのある隊列です。露払い役は安佐市民病院の天使たちがインラインスケートを履いて軽やかに舞うことでしょう。隊列の先頭は広島県警音楽隊のブラスバンドです。続くのは若者の隊列。そのほか、路上の定点では各種パフォーマンスもあり、安佐市民病院の救護所も設けられる予定です。可部の町でこれだけ大勢の人たちが集まるイベントは何年振りでしょうか。そして大勢の人たちが町を挙げて集まることに大きな意義が感じられます。

主催団体を除いて、このイベントに参加して下さるグループ

- ・ 亀山神楽団
- ・ 可部高等学校
- ・ 可部中学校
- ・ 文教女子大付属高校
- ・ 可部フットボールクラブ
- ・ 安佐市民病院
- ・ ボーイスカウト・カブスカウト
- ・ 嫁入り行列グループ
- ・ こどもみこし・わかものみこし
- ・ 広島県民踊協会
- ・ 広島県警音楽隊
- ・ 可部バトン
- ・ ハッピーダンスグループ
- ・ 青少年ソーラングループ
- ・ ジョンブレイズ
- ・ 可部南女性会
- ・ ウイング可部
- ・ つくし工房
- ・ 横川・祇園の野次馬さま 他

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

8月	24日(水)
9月 14日(水)	24日(水)

#### カラスのイベント等

- 8月21日(日) 武吉 結納の儀  
武吉、両親、船頭が太田川を下って  
横川の大雁木へ。川面の座敷で結納の儀実施
- 9月4日(日) かよこの嫁入り祭  
可部会場 午後3時~5時 旧街道で歩行者天国  
多くの団体が参加して顔見世パレード

## 可部の産品を展示販売

### 緑井の天満屋で

可部の産品を展示販売する企画が天満屋緑井店で行われます。

可部町商工会の肝いりで実施された企画で、8月15日(月)から21日(日)まで。

天満屋1階入口正面で「可部今昔写真展」、展示に惹かれて進めば可部の産物売場に辿りつく。参加店は協同作業所ウイング、福留ハム、ずいちゃんの店、増井醤油、久保田酒造、旭鳳酒造、東邦ガラスビーズの7店舗。写真展は「可部カラスの会」が提供。



# 可部カラスの会

第92号 2005.9.15

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3

Tel814-0162 (寺本 克彦)

[kabekarasunokai@ybb.ne.jp](mailto:kabekarasunokai@ybb.ne.jp)

<http://www.dion.ne.jp/~karasukb/>

## 町が動いた かよこの嫁入り祭

情報では間違いなく「台風14号」の接近を伝えていました。それでも一縷の希望を抱いて可部のメンバーは準備を着々と進めた“かよこの嫁入り祭”。

9月4日、文教の本多先生が扮する武吉、父親役の辻さんと母親役の上森さんも五丁目会館で着付けを済ませて、横川へと出発しました。

横川での“かよこと武吉の結婚の儀”は広島市長も参加して、おごそかなうちにも盛大に行われ、ハネムーンは祇園から可部までと、比較的順調に進んできました。可部の明神公園でも武吉夫妻の顔見せパレードの準備は万全な体制で進められ、マスコミの皆さんも続々と集まってきました。

武吉夫妻が可部に到着してホッとする暇もなく、心配していた雨がやってきました。ステージの上では文教太鼓の皆さんが演奏を開始したときでした。

やむを得ず1曲演奏したところで激しい雨により中断。ごめんなさい太鼓部の皆さん。



武吉夫妻にぶしつけな質問も



台風が何だ。パレードも開始

## 始まった 雨中の 大行進

午後3時、秋葉広島市長や安佐北区長も揃ったところでイベントの開始。開会宣言は可部夢街道の大旦那(会長)の多川さんが勤めました。

かよこ・武吉夫妻の紹介とインタビューでは、司会の質問にさわやかな回答やら、答えにくいものも交えて終わったところで、パレードが始まります。雨はだんだん激しさを増してきます。

人力車での行進は、バケツの水をひっくり返したような雨で、人力車からバスに切り替えて再スタート。続く嫁入り道具の行列は区内各公民館職員のお助けマンが担ぎます。

パレードは可部高校までの往復。豪雨のためやむを得ず参加できなかったグループもありましたが、大方は若者らしく元気よく踊って跳ねて明神公園まで帰ってきたのは、5時少し前でした。

パレードに加わった皆さん、雨に濡れながら道路で応援していただいた町の皆さん本当に有難う。そしてずぶぬれになりながら最後まで役割を果たしてくれた可部高校・文教女子高校放送部の皆さんも、そして朝からイベントに参加、可部まで応援してくれた横川・祇園の皆さんご苦労様でした。

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

8月24日(水) 参加者  
報告事項

可部の物産展終了(緑井天満屋)  
好評、店舗同士の交流も好感  
舟下りの結納祭 8月21日(日)

企画はよかった・途中でトラブル  
カヌーの応援で大雁木へ到着  
アイデア豊富で愉快なイベント

提案・決定事項

よがんす祭り 8月27日(土)

結納祭の写真と嫁入り祭の予告  
嫁入り祭最終打合せ 8月28日

かよこの嫁入り祭 9月4日

根の谷川の清掃 9月25日(日)

9月14日(水) 参加者13名

報告事項

よがんす祭 8月27日(土)

よく見てもらった

かよこの嫁入り祭 9月4日(日)

台風の中でみんな一つに向けて燃

えた

提案・決定事項

根の谷川クリーン作戦 9月25日

上・下会場の担当を決定

参加者の早期把握と飲物の確保

チーフはわかりやすい名札を

打ち上げは月見 友広広場で

公民館まつり 11月12~13日

カラスの展示場は6階大会議室

ラティスを使用した展示を

根の谷川水質調査 11月6日(日)



# 変わった水流 ゴミはどうか？

## 25日 根の谷川クリーン作戦

今年で9回目を迎える可部カラスお馴染みの「根の谷川クリーンキャンペーン」を実施することになりましたのでお知らせします。概要は次の通りです。皆さんの参加を待っています。川の中には入らないことと、事故のないようにご注意ください。事後処理の煩雑さを避けるため、分別収集をお願いします。

- ・主 催 可部カラスの会
- ・共 催 可部及び可部南学区公衛協
- ・日 時 9月25日(日) 8時から10時まで
- ・集 合 場 所 可部高校南側広場・上原橋東詰
- ・用意するもの 帽子・長袖シャツ等身軽な服装
- ・主催者が用意 手袋・ゴミ収集袋・飲物・一日傷害保険
- ・ゴミ集積場所 集合場所に同じ



高松橋から見た最近の根の谷川

## 結納持って のんびりと舟の旅

### 横川の大雁木で結納の儀



高瀬堰をのんびり下る結納舟

8月21日(日)は武吉にとっても武吉のご両親にとっても忘れることのできない、意義のある忙しい日でした。

先ず朝6時明神公園横の五丁目会館に集合して和服に着替えます。会館の外では夢街道の皆さんを中心に、船下りの安全祈願の準備が着々と進んでいます。

着付けも終わり、正装なった武吉(文教本多先生)とご両親(辻さんと上森さん)に、舟を操る中本さんたちと一緒に明神社へ。

三入神社の神官の丁寧な祝詞奏上など儀式を終えた一同は、本日一番

のイベントのメインイベントとして太田川河畔から舟に乗って横川まで下ります。

当日の太田川は水の流れも緩やかで、当初予定をオーバーして高瀬堰へ到着します。ところがここでトラブルが発生します。高瀬堰自慢の舟通しの操作が手間取ってみんなイライラ気分です。

またまたトラブルです。安芸大橋あたりから舟が進んでくれません。ヤキモキする中で助け舟が…、カワニバルのメンバーがカヌーで曳航してくれて何とか横川の大雁木へ到着。ところが今度は雨に見舞われてしまいました。

“雨にも負けず”大雁木にしつらえた水上の座敷で結納の儀も傘をさしての演出。ハプニングの連続でしたが、どうやらめでたく終了しました。

乗ってきた舟をトラックに積んで太田川河畔にもやって一日の行事もやっと終わりました。

おっと、まだありました。これだけ頑張ったんですからゼットイに打上げをやるべきですよ。

代表宅の中庭に集合。雨の中で“ビールサーバー”が大活躍したことをお伝えして、当日の報告を終了させていただきます。

#### カラスのスケジュール

##### カラスの定例会

9月 28日(水)  
10月 12日(水) 25日(水)

##### カラスのイベント等

###### 根の谷川クリーンキャンペーン

9月25日(日) 8時から10時

可部高校南側広場・上原橋東詰に集合(関係者は7時集合)

###### 可部公民館まつり

11月12~13日 展示場は6階大会議室

根の谷川水質調査 11月6日(日)



# 可部カラスの会

第93号 2005.10.15

事務局 安佐北区亀山南二丁目1-3  
Tel814-0162(寺本)  
karasu@ms9.megaegg.ne.jp  
http://ww.ha.dion.ne.jp/~karasukb/

## 根の谷川に集まった433名

### 多かった学校からの参加

今年で9回目を迎える「根の谷川クリーンキャンペーン」は9月25日(日)に開催しました。午前7時、楽しいことをやるときには時間が早くても一向に苦になりません。定例会であらかじめ高松橋グループと上原橋グループに指定されたとおりカラスのメンバーは集まってきます。清掃道具の区分、飲物の準備も手馴れたもの、地元の人たちとの挨拶もあちらこちらで交わされます。

8時前から、呼びかけに応じて集まってくる人たちの姿も多く見受けられます。毎年呼びかける学校の生徒さんの姿も増えてきます。

台風14号の影響でゴミの量が多いと想定されましたが、事前に見回ったところ川の樹木等にかかったごみの量は驚くほど多い量には見えませんでした。

午前8時前、参加者はどんどん増えて、それは私たちの予想を遥かに超える集団となってきます。中学校や高等学校の皆さんも大挙して参加。嬉しい悲鳴が上がります。用意した手袋が足りなくなりました。やむを得ず一対の手袋を二人で分けて急場を凌ぐ有様でした。こうして約2時間、大量のゴミが小・中・高校生などの集団によってきれいに片付けられて作業はほぼ終了。

あとは集まったゴミの整理。これも皆さんに手伝ってもらって、ざっと1時間で終了しました。

参加者は上流(高松橋付近)330名、下流組(上原橋付近)103名合計433名という多数の参加に胸の熱くなる思いがしました。と同時にこの取り組みに関する皆さんの関心が一段と高まったように感じられました。参加された皆さんどうもありがとう。来年も一緒にやりましょう。



彼岸花を避けて ゴミの回収

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

9月28日(水) 参加者12名

#### 周知事項

- ・クリーン根の谷川 9月25日(日) 参加者433名 学校からの参加が多かった
- ・可部夢街道町めぐり10月16日(日) カラスも応援

新澤夫妻・山口・遠原・和田木・友近

- ・水質チェック&芋煮会11月6日(日) 江角主導 試薬の確保も手配済み

可部公民館祭 11月12日(土)~13日(日)

- ・ストーリー性をみんな考えてよう

定例会10月26日(水)

10分間討議、あとはイベントの反省会?

10月12日(水) 参加者12名

#### 周知事項

- ・かよこの嫁入り祭 反省会 10月10日

可部町商工会館に43名集合

ビデオを見て感動、挨拶しながら感動

#### 検討事項

- ・嫁入り祭を雨の中で、多少の問題点も浮かび上がった。これをバネにすれば、少々のことなら不可能という文字は不要。

公民館祭 11月12~13日 昨年どおり

6階大会議室

かよこの結納の儀と嫁入り祭の写真展示

可部夢街道町巡り・花の散歩道10月16日

各担当部署の配置について説明し了解。

水質調査降雨でも芋煮は実施・調査は別途

従来の懸案 カラスのH・P 調整・他



## かよこ嫁入り祭りの反省会

# 異句 ようやった・またやろう 同音



ご苦労さん かんぱ〜イ

あれだけの豪雨の中、懸命にやり通した“かよこの嫁入り祭り”大勢の動きの中で「一体自分は何ほど貢献できたのか」、「このままではフラストレーションが溜まる」そんな人たちの気持ちから全体の動きを振り返って確認する集いとして開いたのが反省会。

集まったのは各界から43名。横川から2名、祇園町商工会、可部町商工会をはじめ可部警察署長・交通課長さんの顔も見えます。そしてもちろん文教高校の校長先生ほか3名。もちろん武吉（本多）先生の顔も見えます。そのほかパレード等に参加していただいた各団体の代表も揃って反省会開会の運びとなりました。

どの参加者も楽しそうな表情が伺えます。反省会は夢街道大旦那の挨拶から。そして乾杯と続きます。弁当も開かれて雰囲気盛り上がりつつあるところで、嫁入り祭当日の写真とビデオが披露されました。

映像には参加者の動きを映し出していきます。皆さんの目がきらきら光り、箸の動きも留りがち。若者たちが雨の中で思いっきり楽しそうに動く姿に歓声も上がります。

## 会場にみなぎる感動の声

ビデオの上映が終わって会場が明るくなると拍手が起きました。「若い人たちはすごい。これからもいっしょにやれる」とか「表情がとっても明るくて、ダンスをする若者の動きも澁刺として頼もしかった」などの声も聞こえます。

当初は参加グループの代表者数名の声をいただく予定の司会も方針を変更、できる限り多くの人から声をいただくことに。ここでメッセージの概要を紹介します。

- ・横川商店街進行組合 松木理事長さん 「可部はなにをやっても“すごい”の一言です」
- ・可部警察署長さん 「当日の様子を実際に見ましたが、皆さんの表情がすばらしかった、今後も協力したい。」
- ・ 〃 交通課長さん 「皆さんの動きを見て…」と絶句。参加者も感動しました。

- ・文教高校校長さん 「いろいろな形で協力できた。今後も皆さんの活動をできるだけ応援します」
- ・文教の本多（武吉役）先生 「カラスの飲み会に、もう3回も参加しました。」
- ・祇園町商工会 桑本会長さん 「可部と横川にはさまれて今まで活動する機会が無かったが、今後は積極的に関わりたい」
- ・広島県見民踊協会可部支部 西川さん 「雨対策は慣れているので万全。楽しいひと時をすごせました」

### カラスのスケジュール等

#### カラスの定例会

10月	26日（水）
11月 9日（水）	23日（水）

#### カラスのイベント等

- ・10月16日 可部夢街道町めぐり  
夢街道・可部公民館の皆さんと協働  
10時～14時 可部夢街道と花の散歩道のご案内
- ・11月6日 根の谷川水質調査&芋煮会  
午前8時 南原川合流点  
太田川合流点 から出発  
指揮 江角 高松橋南で“芋煮会”
- ・11月12～13日 可部公民館祭り  
6階大会議室 かよこ嫁入り祭の写真展

### カラスのワッペンをどうぞ

カラスの作務衣を持っている人が対象でワッペンを販売しています。アイロンを熱してはりつけます。1枚600円 残り14枚



# 可部カラスの会

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3  
Tel 814-0162(寺本)  
karasu@ms9.megaegg.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

第 94 号 2005.11.15.

## 参加準備は進む 公民館まつり

第 34 回可部公民館まつりに望むに当たって、カラスはカラスなりに考えました。出し物は広島市八区覧会・八区物館のテーマに基づいた“かよこ”が中心となることはいうまでもありません。

写真などの記録もたくさん残っていることですから、可部夢街道まちづくりの会との綿密な打合せに基づく準備は着々と進みました。8月21日の“武吉の結納の儀”続いて八区覧会のオープニングイベント“かよこの嫁入り祭”、最後は10月16日町を挙げて取り組んだ「可部夢街道と花の散歩道」をセットにした、“可部の町めぐり”です。

あとは、それぞれのイベントについて、資料の整理と写真の選択に時間をかけることに…。そして11月6日に開催したカラスの定例会ではかよこの嫁入り祭と可部の町めぐりで思いっきり弾けた可部の町衆をテーマに「<sup>かべのみんな</sup>可部の町衆」をタイトルとして来場者への挨拶文を作りました。

## 笑いと拍手に沸いた会場



DVD ビデオで活動を紹介

待ちに待ったお祭りの開会です。会場は従来どおり 6 階大会議室。開会当初は訪れる人もまばらだった会場も、DVD ビデオによる楽しそうな活動の紹介に、徐々にその数を増してきます。そして報告の楽しさに惹かれて、用意しておいた DVD やビデオテープも売れてゆきます。

映像が終了するたびに司会者が「可部夢街道まちづくりの会」の皆さんが抱く熱い思い、そして町の人たちの献身的な協力があってこそ成功した経緯をコメントしました。これで全体の動きが理解され？じっくり鑑賞していただくことができましたようです。

もう一つ、優しいカラスの女性グループが提供するお茶のサービスも好感を持って受け入れられました。こうして今年も好評のうちに公民館祭を終えることができました。でも、皆さんはそれぞれ忙しく、恒例の打ち上げは済ませておりません。」

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

10月26日(水) 参加者名13名

#### 周知事項

・可部夢街道街めぐり 10月16日(日)

千余人の来客で賑わったが案内方法・案内掲示板等に再検討を要す

・地域活性化フォーラム 10月25日(火)

大林映画監督「若者たちの飛び立つ発射台になろう」のコメントに感銘

・新会員紹介 中野さん・立川さん

#### 検討事項

水質調査&芋煮会 11月6日(日) 8時

高松橋下流集合・二手に分かれて作業

・可部公民館祭 11月12(土)〜13日(日)

かよこがらみの写真展示とビデオ上映

・HP容量超えた。山下氏と抜本的対策を

・カラスの忘年会 11月22日ひふみ会館

11月9日(水) 参加者 11名

#### 周知事項

・水質調査&芋煮会 11月6日(日)

降雨激しく中止・芋煮会のみ実施、調査は別途

#### 検討事項

・古民家(松井家)の活用(18年4月)

ウイング可部が入居の予定。地域交流の先輩としてカラスの応援と意見がほしい

・とりあえず11月19日話し合いを予定

・水質調査 日程を決めてきちんとやろう

・公民館祭 11月12(土)〜13(日)

・可部町民の力強さを表現したテーマ

「可部の町衆(みんな)」とする

展示の写真と日別参加者の確認

ツールの搬入と組立ては12日9時開始



# 終日ごった返した 可部の町並み 好評だった 町巡り

10月16日可部の駅前には朝から活気付いています。そうです、昨年が続いて可部夢街道町巡りの日がやってきたんです。

町巡りの構想は、旧道の探索にあわせて、花の散歩道も巡るようなコース設定となっています。もちろん広島市の八区覧会・八区物館の企画に合わせて可部の姿を見てもらう企画ですから、事前の準備も怠りなく、夢街道の皆さんが丹精込めて育てた花も準備できました。

可部駅に集合した案内役は40余名で、お客さんの来場をお待ちします。広島商工会議所企画の貸し切りバスが到着と同時にざわめきが大きくなって来ました。早速数人ずつグループ編成して案内開始。案内役には当日が最初の仕事となった、可部公民館の町案内ボランティアの皆さんも参加しています。



花の散歩道 松井家裏付近を訪ねる



杉玉と山繭の糸車

## どこまでも続く人の波

ところが、どのポイントもお客さんの渦。その上通過する自動車も後を絶ちません。その上、扱いに不慣れなせいでスピーカーもハウリングの連続。やっぱり歩行者天国にした方がよかったのかなあと感じたことでした。何とかわかりやすい位置から説明しようと試みますが、道路が渡れません。自分の担当するグループにうまく説明できているのかどうか、心配の連続でした。それでもどうやら所定の時間内で夢街道・花の散歩道をご案内することができました。

この企画での反省や問題点などは10月19日に開催された「可部夢街道まちづくりの会」の定例会でも提起されています。

でも、久しぶりに町が賑わいを見せ、特に食べ物を扱った店では“てんてこ舞いの忙しさ”だったところもあった様子でした。来年も元気を出してうまくやれるようになりたいものですね。

## 励ましと要望と 参加者のアンケートから

町案内に参加された方にアンケート用紙をお渡ししておいて、皆さんから感想をいただくことができましたので、内容をピックアップして紹介します。

### カラスのスケジュール等

#### カラスの定例会

- 11月 22日(年忘れ)  
注) 23日は公民館定休日のため変更して  
ひふみ会館で年忘れの会  
12月 14日(水) 28日は中止

#### カラスのイベント等

- 11月19日 可部公民館 10時~12時  
可部の建築美の説明  
講師に 加納 明男さん出演

#### 印象に残ったもの

山繭 街道の町並み 造り酒屋 醤油屋 古い町並裏通り 旧家の庭 永井家 樋野村の古い町並写真

#### よかった点

花がきれい スタッフが親切 町の人たちが協力的 途中の飲物 案内人がいてよかった 楽しい企画

#### よくなかった点

要所で詳しい説明を 道がわからなくなった 質問に対し知らないと回答 現在地の表示がない 公民館に資料がなかった 案内はさいごまで 人が多く他のグループと区別がつかなくなった

#### 町巡りに期待するもの

町並みを活かした観光化 来年も期待します 歩行者天国に 宣伝の方法を工夫し広く広報を



# 可部カラスの会

第95号 2005.12.15.

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3  
Tel 814-0162(寺本)  
karasu@ms9.megaegg.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

## 水流が変わった上流 水質調査 発電所の水流で対応

11月6日、朝から雨が降り続いていました。カラスが続けている“水質調査”の予定日です。午後1時、有志の面々が雨合羽のいでたちで高松橋下側に集合してきます。

根の谷川を覗きながら、雨の状況から水量も増えており、やむなく延期することになりました。

### 順調に進んだ上流の調査



さて、今年の調査は、上流と下流を分けて行うことにしました。まずは上流からはじめましょう。12月1日午後1時半、集合地点に集まったメンバーは9名で、川見さん、中野さんは初体験です。

スタート地点到着まで根の谷川を眺めながら確認できたことは、水の流れに分流がなくなり、本流1本の流れとなっていたこと、流れ橋が9月6日の台風の影響で、その名の通り、流れ橋となって利用不能となっていることでした。そこで従来の調査ポイントから分流を削除して、改

めてポイントを設定しました。途中ウォーキングのご婦人に珍しそうな視線を浴びたり、流れ橋修復の測量をしている市役所職員と話したりで賑やかに進捗し、南原側合流点から高松橋上流までのコースのPHとCOD調査を終了しました。

### 下流の調査終了と今後の調査内容の検討

続いて下流組の状況です。12月9日、空っ風が強く吹きつける日でした。調査担当部長の江角さんは考えました。効率的に作業を進めるため、メンバーを2チームに分けて調査することにしました。

調査を始めてしばらくたった頃から、発電所が作業を開始した様子で、水量が増え始めてきました。しばらく様子を見ながら、とりあえずポイントごとの作業を終了しました。

企業の排出する水が改善され、行政による下水処理は大幅に改善されて、川の水質が改善されていることは、“名水鑑定人・工学博士、佐々木先生”の調査で明らかになっています(16年12月可部の名水講演会)。こうした動きの中で従来どおりのPHとCODの調査を続けることは是非や、安心して川遊びができるかどうか心配な“大腸菌”の調査(方法・経費・時間)などを行う必要な時期に来ているような気がします。

### 定例会じゃあ こがあな話を

- 12月14日(水) 参加者 11名
- 水質調査 上流 11月30日 9名
- 流れ橋が流れた。水流も変わった。
- 水質調査 下流 12月9日 7名
- 可部発電所で発電中の調査の可否決定要。
- 樫の木で門松を作ろう 12月28日
- 選定の目途がつき、三木邸前に飾りつけ予定、かわらばん・会報等で町内外にアピール要。後始末は“とんど”で説明文は樫の木会が担当。
- 町屋コンサート 12月22日個人の資格で応援。
- カラスはどこへ飛んでゆく?
- 今後のあり方をじっくり考えよう。

- 11月22日(火) 年忘れの日
- 於 ひふみ会館 その前に:
- 根の谷川水質質チェック(上流)
- 11月30日実施予定
- 可部地区賀詞交換会 1月7日(土)
- 加納・新澤(別口)辻(別口)参加
- 古民家の活用(ウイング可部が店子カラスとして店子は無理がある。
- 明神祭り反省会 11月28日に代表・新澤両名にオフア!
- 樫の木会がスタート。
- 正月に樫の木で門松を飾りたい。
- この1年を通して、それぞれの思いを述べて、後は女性連の腕によりをかけた手料理で楽しいひとときを...



# 昔の可部の風物を求めて

## 檜の木で正月飾りを 檜の木会がスタート

むかし、山藪で栄えた可部の町、正月には“檜の木”で門松を作ったという話は聞いたことがありました。そしてその門松を立てたいという願いがじわりじわりと湧き上がりました。友近・新沢（慶）さんを中心として動き始めた“檜の木会”の面々です。

今年3月、歴史部会を再立ち上げ、胸に溜まった思いを話し合ううち、可部の歴史にちなんだ民話や伝説を主体に取り組んでみようとなりました。

早速、可部町でただ一人“檜の木の門松立て”の生き証人、朝枝さんに相談したところ、朝枝さんの応援をいただくこととなり、「当時は30日に木を切り出して飾り、正月を迎えて3日間飾った後“とんど”の火で送った…」という話も聞くことができました。

カラスの思いは「町の人たちにも見てほしい」ことです。そこで次のような計画を立てました。

- ・門松は三木邸に飾らせてもらう。そして、町の人たちにも見ていただくため、28日に飾り付けを終了。
- ・今回は5日まで飾った門松を、8日に実施される“とんど”で送る

今、この計画は実現に向けて「可部カラスの会」の皆さんの応援を得て、着々と進められています。

この行事を再現することは、ただ単に面白いからでなく、“昔の可部の町にすばらしい風習が残されていたことを偲び、後世に伝えていきたい”そんな気持ちなんです。

### 静かな可部の正月風景

右の写真は入江呉服店に残されていた“檜の木の門松”の写真で、可部の門松を知る写真はこの一枚しかありません。写された時期は大正初期とのことですが、車の走り抜ける現代の様子とまったく違った、穏やかな空気が伺えます。

入江さんの話では、「当家では毎年飾って正月を祝ってきた」とのことです。

皆さんの家庭のどこかに、こうした写真があればご連絡いただきたいと思います。

そして先代たちが伝えてくれた行事の姿を正しく把握して、可部の町に活力を取り戻したいですね。



静かな佇まいの町に飾られた檜の門松

カラスのスケジュール等			
カラスの定例会			
1月	11日(水)	25日(水)	
カラスのイベント			
檜の木の門松飾り	12月28日(水)	三木邸前	
	13時集合		
檜の木の片付け			
	13時集合	1月5日(木)	三木邸前

和入	申会	と	と	出	町	第
田江	先費	入	12	演	屋	三
木	込	江	月	ギ	コ	回
		呉	22	ター	ン	
		服	日	独	サ	
		店	午	演	ー	
			後			
			7			
			時			
814812	一人千円					
2 2						
4 0						
8 2						
8 8						

### 可部カラス ワッペン大特売

作務衣につけて カラスをアピール

1枚 600円



# 可部カラスの会

第96号 2006.1.15.

事務局 安佐北区亀山南二丁目1-3

Tel 814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

## 旧道に蘇った檜の門松

山繭織りで繁盛した可部の町に、正月の門松は檜の木を使ったという話を聞いたことはあるものの、実物を目にしたことのあるカラスは一羽もおりません。ところが、その願いが叶えられるという朗報がはいってきました。

12月初旬、歴史部会担当の女性メンバーが集まって、“何とか檜の門松を作りたい”との願いを、門松を作った経験のある可部三丁目の朝枝 基さんに相談したところ、“そんなら、一緒に作ろう”と話がまとまり、実現への道程が見えてきました。

### 飾りは28～5日 三木邸で

決まれば、動きの速いのがカラス。木の切り出しから飾り付けまでの日程を決めて、行動の開始です。場所は旧道で古い家屋の趣を残して改築された三木邸、28日午後1時から飾り付け、正月5日まで飾り付ける予定としました。

檜の木会のメンバーの友近さんは「嬉しさで一杯よ。朝枝さんから“やろう”言われたときには歓声に包まれて…」と語ってくれました。

飾りつけの当日、三木邸と隣の松井邸にも、近所のご好意で幕が張られ、初めて作業を見ようとのおおぜいの人たちが、熱い目で見守る中で門松が立てられます。道路の向い側から指示を出される朝枝さん。柱となる2本が立てられ、横にも通して、真ん中に“注連飾り”をつけて完成です。



門松をバックに記念撮影、みんな嬉しそうな笑顔

## 檜の門松にかかわる情報 あれこれ

檜の門松はいつ始まって、いつ頃終わったの？

いつ頃から檜の門松を立てるようになった不明だが、郷土史研究家の下野岩太先生は、商業文化が発達した徳川時代からではあるまいかと、可部町『はなし百話』の中に記述されています。

なお、朝枝さんの話によると、可部で朝枝さんと入江呉服店が昭和10年頃まで飾った記憶があるとか。どうして檜の木で飾ったの？

山繭で繁盛した可部の町、山まゆの幼虫が食べる檜を飾って、山繭に対するお礼の意味があるようです。

1軒では淋しいと思われませんか？

檜の門松は幕と良く合い、落ち着いた雰囲気があります。町の人たちにも好評だったようです。来年からできれば数を増やし、可部の正月風景づくりになればと思います。

役割を果たした檜の木の行方は？

「二丁目町内会」の皆さんのご好意で、1月8日に行われた“とんど”の火で送っていただくことができました。

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

- 1月11日(水) 参加者 11名
- 経過報告
- ・可部の町に檜の門松が立った
- 12月28日(三)三丁目三木邸へ。
- ・通行者の目にも留まって立ち寄りも多く見られた。
- ・町屋コンサート
- 12月22日 入江邸 ギター演奏
- 大雪が心配されたが盛況。
- 演奏もすばらしかった。もっと裾野を広げる努力を…
- ・賀詞交換会
- かよこの嫁入りパレードのCDが好評。公式記録としたい。
- ・討議事項
- 『どうするんなら可部カラス』ワークショップの後で新年互礼会
- 1月29日午後1時から 友広邸



# 味なことやる 榿の木会

しばらく活動を休んでいた歴史部会が昨年3月に眼を覚めました。「何から手をつければよいかしら」と、いろいろと話しあった結果、なんとしても可部の歴史に基づいた民話や伝説を紐解いてみようという意見がまとまり、活動を再開しました。

そしてグループの名前も「榿の木会」に改名、最初に思いついたのは、以前から関心があった、可部と縁の深い山繭と榿の木の正月飾りに話が弾み、取り組みはじめた民話づくりが「榿の木ものがたり」です。

榿の木会の活動は民話づくりにとどまりません。実際に榿の木の門松をつくってみようということになり、可部でただ一人、榿の木の“正月飾り”を実際に作った経験をお持ちの朝枝さんに指導をお願いしました。朝枝さんも「それではやってみましょう。」とこころよく応じていただき、今回の運びとなりました。

## 発揮された みんなの底力

そこで元気の出た榿の木会の皆さんが、三木さん宅へ協力をお願いや近所への協力依頼までして回り、手筈を整えました。こうして、カラスの会をはじめ、各方面へ榿の門松づくりについて協力を依頼し準備作業に入りました。こうした動きによって、今回のすばらしい企画が成功できたと感じています。

三木さん宅への飾りつけの日、設営に当たるカラスのメンバーはもとより、持田組の方にも手助けを頂いたり、近所の皆さんからも多くの応援をいただくことができたようです。

以前、高松山の登山道を再整備したり樹木や植物の案内板を取り付けて、高松山の魅力づくりに取り組んだパワーを再現してくれました。

まさに、“味なことやる”グループですね。

## 可部駅西口は今 夢街道まちづくりの会の動き

可部の旧街道に昔の賑わいを取り戻そうと、熱心な活動を続ける“可部夢街道まちづくりの会”の皆さんは、いろんな分野で活動を展開しています。

去年は、昔の衣装で“フラワーフェスティバル”にも参加、“かよこの嫁入り祭”では、可部のパワー全開で、豪雨の中見事にパレードを成功させました。

更に10月には“可部夢街道と花の散歩道まち案内”で千人以上のお客さんを町に呼び込むことに成功しました。数え上げれば際限がありませんが、こうした派手に見える活動だけでなく、可部駅西口再開発や可部にふさわしいモニュメントづくりに全力を挙げて取り組んでいます。

## 可部を象徴する モニュメントを

モニュメント（記念のしるし）といっても、動きのない記念碑では面白くありませんね。くつろぎと同時に可部へ来たことを実感できるものにしたいと、広島市立大学の吉田先生を中心に、担当のメンバーは首をひねっている最中です。

### カラスのスケジュール等

カラスの定例会

1月 25日(水)

2月 8日(水) 22日(水)

カラスのイベント等

『どうするんなら可部カラス』 ワークショップ

1月29日(日) 13:00~ 友広邸

終了後 新年の宴も予定

そうは言っても、のんびりと考える時間はありません。近いうちに結論を出す必要があります。

そのほか、バスの待合所などには、昔の可部をイメージした造作が組み込まれるようです。町の皆さんには“可部夢街道まちづくりの会報 かわらばん”を通じて逐次お知らせされる予定です。

もう一つ、朗報です。今まで実現の方向が見えなかったトイレの問題も、どうやら設置の方向で検討されると聞きましたが、もう少し整理してからお知らせします。



# 可部カラスの会

第97号 2006.2.15

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3  
 Tel 814-0162(寺本)  
 karasu@ms9.megaegg.ne.jp  
 http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

## 歴史を尋ねて 鞆(福山)へ 今年の先進地探訪

先進地を訪ねて、今年のカラスは鞆へ行ってみたくと思います。ご存知の通り、古くから港町として栄え、今でも観光客の足は途絶えません。マスコミの報道を垣間見ると、架橋と景観を巡って町を2分するような騒ぎに見えますが、町の中を歩いてみても、それほど騒ぎは伝わって来ない感じがします。

今年もちょうど“雛人形”の時期で、古い町並みにマッチした人形も飾られることでしょう。

3月5日午前8時 出発 可部(安佐北区役所前)をスタートして、一路福山へ。

午後5時半 帰着予定 もちろんバス代はカラスが負担します。

バスの定員は補助椅子を含めて45名。はなはだ勝手ながら、可部カラス・夢街道・可部町商工会の皆さんを優先させていただきますが、空席があればその他の方も参加できます。参加希望の方は下記までどうぞ

可部カラスの会 和田木 Tel 814-2488  
 可部夢街道まちづくりの会 梶川 Tel 812-2750

## ”どうするんなら 可部カラス” 反省評価と活動計画のワークショップ

お屠蘇気分も覚めた1月29日(日)、友広代表宅へ、奥さんのご迷惑も顧みず集まったカラスの連中。またも宴会?と思いきや、ねじり鉢巻で始めたのが、タイトルのワークショップとやら…鉛筆舐めなめ考えた。

“チョコしか持たん、わしが、何を考えりゃええんじやろうか”とつぶやきつつ書き上げた反省・成果…。

それでも2時間近く考えれば、形にはなるもので、K・J法?のスタイルにまとめました。皆さんにお見せするもんじゃなくて、反省と今後の活動計画の材料です。そいじゃこらで酒盛りと参りましょう。

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

1月25日(水) 参加者 10名  
 周知事項

検討事項  
 ・先進地研修 架橋にゆれる鞆を訪ねてみよう

2月8日(水) 参加者 9名  
 周知事項  
 検討事項  
 ・夢街道企画の講演会 2月12日(日)  
 可部の町家 調査報告と見学  
 比治山大学 迫垣内 先生  
 ・夢街道企画の講演会 3月12日(日)  
 可部に花咲いた鋳物産業  
 比治山大学 島津 先生  
 ・クリーン根の谷川をどうする?  
 ・根の谷川で子供たちを遊ばせるには…

検討事項  
 ・どうするんなら可部カラスW・Sの続き、この後をどうするんなら  
 ・時間をかけて要検討  
 ・先進地研修(福山市鞆町を訪ねよう)  
 出発 8時 帰着 17時分30予定  
 バスの手配 遠原  
 参加者 40名程度  
 バス代のみカラスが負担  
 ・コミュニティサロンの応援  
 ウイークデーをどうするか具体的に掘り下げよう



最近可部の町に“さざなみ”が寄せてくるような感じがしませんか、旧道をたずねて歩くイベントや、古いバスを扱ったイベント、花を植える運動などなど。今回はそうした運動を紹介します。

## 投げた小石の波紋広がり

# 動きが人に伝わってカに 夢街道の皆さん

可部駅西口再開発を契機に立ち上がった“可部夢街道まちづくりの会”の動きが活発に見えます。まず町衆のパワー溢れる活動から振り返ってみましょう。



かよこの嫁入祭から

昨年の春、百年前のバスを可部に迎えた感動は今でも脳裏に残っているでしょうが、そのバスにかよこと名前がつけられて、9月4日台風の中で可部をパレードしましたが、その力はそのまますべて温存されているようです。

10月16日には「夢街道まちめぐり」を行いました。これもまた大ヒット。花の散歩道の花壇巡りとともに、約1千人近い人で町が膨れ上がりました。夢街道の皆さんはこれで気持ちもり上がります。こうした動きに今年に入っても矢継ぎ早に

講演会を準備しています。

2月12日には比治山大学の<sup>さこがいち</sup>迫垣内教授を招いて“町屋の見方と可部夢街道の町屋の特徴”と題する講演会を開催。参加した60名は講演が終わって永井家・塚本家など屋内外の構造を目の当たりにして、皆さんに大変喜ばれたようです。また、3月12日にも講演会を行います。比治山大学から可部高校卒の島津教授を招いて“物流の中継地・可部に花咲いた鋳物産業”と、今度は硬い硬いお話のようです。

## 可部駅西口再開発でも 大活躍

夢街道の皆さんは可部駅西口の構想でも頑張っています。バスの待合エリアのデザインも計画段階から、行政の担当（可能な限り意向を取り入れてくれました…）との粘り強い折衝で、モニュメントや、設置の予定でなかったトイレまで、色よい返事に漕ぎ付けたようです。

## 活動に花添える公民館

こうした町の人たちの活動を応援してくれているところがあります。そうです。可部公民館の皆さんです。可部公民館では、以前から“市民アカデミー”講座などを通じて、可部の町の歴史・町家の構造・人々の生活などについて公開講座を開いています。

今年度は可部の町案内ボランティアガイドのコースを設定して「町案内グループの自立」を目指した取り組みを開始しました。集まったメンバーたちは、当初は自分たちで資料を探して、マニュアル作りをやりましたが、このたび正確なネタ本を作ろうと、町内の先輩たち数人を招いて、可部の歴史を吸収しています。

## 町の人たちの協力も

こんな中で“まちづくり市民グループ”として活動を続ける「可部カラスの会」もお手伝いをさせてもらっています。

根の谷川の清掃活動などを通して、町の人たちの関心度も高くなって来た感じです。「よおーがんばってじゃねえ」の声もいただくようになりました。

私たちが巣立ちした9年前、先進地として訪問した岡山県の高梁市から「カラスの活動ホームページを見た。詳しい活動を知りたい。可部を訪ねる」との連絡。カラスはもっと飛びます。

### カラスのスケジュール等

#### カラスの定例会

2月	22日(水)
3月 8日(水)	22日(水)

#### カラスのイベント等

3月5日(日) 先進地訪問  
福山市 鞆町  
8時 安佐北区役所前出発  
17時半 帰着予定  
定員 45名(補助椅子を含む)



# 可部カラスの会

第98号 2006.3.15

事務局 安佐北区亀山南二丁目 1-3  
Tel 814-0162(寺本)  
karasu@ms9.megaegg.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp/~karasukb/

## 鞆の活動と賑わいを満喫 先進地探訪で

カラスの会が毎年実施している、先進地探訪、今回は福山市の鞆の浦で活躍を続けるNPO法人『鞆まちづくり工房』を訪ねてみる日です。

3月5日(日)午前8時可部を出発したのは、可部カラスの会の会員と、カラスと共にまちづくり活動を行っている「可部夢街道まちづくりの会」のメンバーの有志です。

目的地に到着しましたが、鞆の町は春のイベントの最中でしかも日曜日、お雛様と古い町並みを満喫しようと大勢の(まさしく足の踏み場もないほど)お客さんで、車の離合も思うに任せられない状況でした。

そうした中で私たちを迎えてくれた説明役は、代表の松居 秀子さん。早速説明会場で活動を聞くことになりました。

事前の参考資料には「鞆の浦の歴史的環境のすばらしさを次代に引継ぎ、町の港湾施設など歴史的遺産を活用し…以下略」の文体に、格調の高さを感じたものですが、「約3年前にNPO法人を立ち上げて活動を開始して、」淡々と話される内容に、「よくぞここまで…」と感動の連続です。



早速活動内容の説明を聞きました

## 地域活動への貢献も大きく

グループの活動内容を紹介しますと、

### 1 空家バンク

明治以前の建物で空家になった11件を3年で店としてオープン。空家はたくさんあるのに、貸してもらえない

### 2 竜馬を救え

いろは丸事件で坂本竜馬が紀州藩と談判した家屋が朽ちてきたが、行政との対応では埒が明かず、グループが買った(アメリカンエクスプレスのファンドで10万ドル)。

理解のある協力者推進するプロジェクトで、宿屋として再生。借金は10年で返済の予定とか。

難問をすばらしい発想で次々と解決してゆく手段に参加者は目を見張るばかり。参加した遠原さんは「う〜ん、すごい発想で、すごいことをやってじゃねえ。」と驚いた様子でした。

説明を終えたところで昼食。午後は自由行動を主体とした行動で町巡り。午後3時、バスで帰着の途に着きました。

鞆の町では、凍結されていた“鞆大橋”の架橋問題がマスコミに取り上げられるようになり、湾の上を大きな橋が掛けられ、景観が台無しになると思われるような、大きな問題と取り組むことになると思われますが、持ち前の粘り強い活躍を期待しましょう。

### 定例会じゃあ、こがあなた話をした

2月22日(水) 参加者 9名  
経過報告

どうするんなら可部カラスワークショップ  
別途時間を掛けてワークショップを続けよう(花見頃を目途に)

先進地探訪 3月5日(日)

松居会長の説明を通して、古民家の扱いなど、可部で必要な事柄を取り込みたい。  
夢街道への呼びかけ・商工会へは?

3月8日(水) 参加者 9名

経過報告

鞆を尋ねての感想

架橋によって景観は台無しになる。

松居代表のバイタリティと、夢街道の参加が多くてよかった。・財政的に大変だったろう。

周知事項 3月2日は休会とする。



## 可部駅西口広場

# モニュメントは“火と水と”

可部駅西口広場に可部をイメージしたモニュメント（記念碑）の構想が見えてきました。「可部駅西口モニュメント企画委員」の皆さんが、ほぼ1年掛けて論議した内容はおおよそ次のようなものです。

可部を象徴する“鋳物と水”を中心に、憩いの場であると同時にイベントにも活用できるものを検討する。この概念でデザインして下さったのが、たった1枚の写真からかよこバスの設計図を書き、作り上げた吉田先生（広島市立大学）です。

モニュメントのイメージは、可部を象徴する鋳物の火と醸造や舟運に象徴される水とを組みあわせることに。大きな鋳物で作った五右衛門風呂を一方に配し、もう一方に池を配置します。

五右衛門風呂の外回りにベンチを取り付けて、憩いの場所とします。イベント時にはベンチをはずし、炊き出しに利用できるようです。

円形の池は止水栓の開閉で水面の高さを調整。水面の変化に応じて景観にも変化をもたせるとか。また底には太田川の小石を敷きます。夜間はライトアップで落ち着いた雰囲気も期待できそうです。

池の真ん中の平面はイベントの舞台にも利用できるような仕組みです。

榿の木配置 山繭で繁栄した可部町なので、榿の木も2本配置する構想になっています。



五右衛門風呂 水量で変化させる池 榿の木

## 経費はみんなの浄財で

話が決めれば直ちに実行。ゆけばいいんですが、問題の建設資金の調達です。

モニュメントの建設まで行政に要求するわけには参りません。皆さんから浄財を集めることになります。

その節はご協力をよろしくイお願いします。

## トイレは共同管理

当初作る予定のなかったトイレもなんとか設置できることになったようです。

でも、管理はみんなの協働作業になります。横川も同様な条件で作られたと聞いています。

うまく行くようにみんなで話し合いをやりましょう。

## 多彩なイベントを実施中 夢街道の皆さん

今“可部夢街道まちづくりの会（以降 夢街道と略す）”の活動はすばらしいものがあります。昨年暮からの活動を拾いあげてみますと、

- ・ 10月16日 花の散歩道とセットで可部の町お宝発見町巡りを実施。1,000名のお客さんを案内
- ・ 2月12日 町屋の見方と可部夢街道の町屋の特徴講演会に 約100名
- ・ 3月12日 物流の中継地・可部に花咲いた鋳物産業講演会で 約100名

以上のような集客力を見せてくれましたが、次の企画として「私の好きな可部の町」写真展を企画するなど、矢継ぎ早にイベントを開催しており、その意欲と底力には眼を見張るものがあります。

そのほか定期的な会議も精力的に開いています。

- ・ 第2週月曜 町並勉強会 18:30 可部公民館
- ・ 第3週木曜 まちづくり定例会 19:30 可部公民館



第 99 号 200.6.15

## やり残しを反省、さらに前へ

### 新町商店街と意見交換

4月12日、カラスの定例会に“新町商店街振興組合（以下、新町と略します）”の若手メンバー仁井、竹本・奥田の3氏が参加。カラスの連中が討議を進める中で、必要に応じて新町からも意見を述べてもらうことにしました。

当日話し合った内容をかいつまんで報告しましょう。

#### ・ 活動を振り返って、整理を

この10年間、“人を紡ぐ・町をつむぐ”をキーワードに運動を続けてきたが、今までの活動を総括し、恒久的な活動は従来どおり継続し、新たな役割で「人を・町を紡ぐ」を意識しながら、グループ同士の連携（可部夢街道・新町商店街など）を強めたいと考えています。

#### ・ 予定されているイベントへの対応

- ・ 5月27日（土）安佐市民病院健康祭 「かよこの嫁入り祭」のビデオと写真展
- ・ 〃 高松山大文字祭 「可部の灯りプロジェクト」位置づけて、竹筒照明の範囲を拡大。
- ・ あわせて町屋コンサートのバックヤードとしての位置づけも。

#### ・ 新町商店街の活性化構想は…

- ・ 広銀可部支店から高松橋の袂までを“大文字通り”のネーミングで、通りにふさわしい街灯をつけてもらえないかなあ。
- ・ 木蓮通りで、木蓮の木をコンパネで囲んだ街角ギャラリーを開きたい。子供たちの作品を展示すれば、地域を巻き込んだ企画になるのではないかと思う。企画はいろいろあるが、可能性は高いと思う。
- ・ 福祉センターの公開空地を利用したオープンカフェの展開も念頭に入れている。

#### ・ その他カラスの課題

- ① 可部夢街道から「平成17年4月可部駅の完成に伴って、可部駅西口広場のモニュメントもでき上がる。については総合的なイベントの企画・運営をカラスでやってほしい。」との申し入れがあるが、大きなイベントなので、単独ではとても対応できそうにない。1パーツ程度なら、受けることができるだろう。要検討。
- ② 櫛の木物語は着々進行している。出演の場所を考えよう。
- ③ 10年間の活動を振り返って総括するには、カラス単独では荷が重いような気がする。文教女子大なの皆さんと意見交換（卒論に使うとか）しながら作業が進むようであれば面白いかも…。
- ④ 贋金プロジェクト  
広島藩が財政の圧迫から命じたのが“贋金造り”で、木坂文左衛門は「天保銭」を铸造。可部の铸造技術が仇となった。ダークなイメージにならないように作ろう。  
物語担当＝中野さん、作成担当＝友広さんで準備作業開始。
- ⑤ 二宮産業さんから“たたら（鉄を溶解させる空気を送る道具）”などが提供された。可部小4階に収納可能。大勢の力が結集できる日を選定の上実行する。



# 根の谷川のお花畑は今

可部高校アーチェリー練習場上流 300メートルの“根の谷川河川敷”で、チューリップが見事に咲いています。

今回、可部夢街道まちづくりの会の「花の散歩道」の仲間入りしたこの花畑、もうご存知の方も多いスペースですが、経費も労力も、すべて自分もちの花畑なんです。

この畑は、近所の皆さんがそれぞれの持ち場を決めて、手すきの時間で作り上げたもの。畑の中間にちいさな橋（俗称）吉田橋があって、橋の上から眺めるもよし、川原に下りて石畳を歩くもよし。夢街道一押しスポットです。

作るのはカラスのメンバーでもある、中村公治さんほか数名で、「パチンコで負けることを考えたら安いもの…」が口癖。他のメンバーも日曜日になると自分の担当範囲の整備に動き回りますが、昼を迎えるとテールが出されて、ビール片手の歓談がしばらく続きます。チューリップが終わると、今度は鶏頭の出番。

この花畑、平成12年の記録でも、鶏頭の花が顔を出しています。現在のような石畳は会合えませんが、その頃からこつこつと花畑の造成に取り組んだ姿が見えます。



## 夏は鶏頭に衣替え



プランターに種を撒いて苗の育生から始まります。そしてちいさな苗を1本1本丁寧に植えてゆきます。（これは奥さんの手伝いが欠かせません）そして水やりも。

そしてもう一つの難関、台風の襲来が

あります。両側の写真は、一昨年8月1日から降り続ける雨は翌2日、根の谷川の水位を押し上げて来ました。今にも水没しそうな鶏頭の花。

なんとか台風が収まった後、元気を取り戻した花（8月21日撮影）は元気に立ち上がってくれました。

こうした難関を乗り越えて、見事に育った花は、町内の大先輩宅に配達され、花を見に来てくれた人たちにも配られ、更にお年よりの施設に配る計画もあるように聞いています。可部付近に住む人も、それなりの人も一度来て見るとええよ。



## 来月で百号で～す

何と来月は会報の百号目なんです。

カラスが発足したときに代表が言いました。「なんとのお、せっかくたちあがったんじゃけえ、会報ぐらい作ろうやあ」

代表と眼が合わないように、努めて知らん顔をしていましたが、何故か「あんたやってみてくれんかのお」蛇に睨まれたカエルじゃない、子ガラス、とうとう捕まってしまいました。

カアちゃんに「ちょっとぐらい代わって貰いんさいやあ」と言われながら、記事をまとめるため、しょっちゅうイベントに顔を出したものでした。

ねぎらいの言葉も何もほしくない。100号を面白いものにするネタを頂戴。ほんの少し熱燭をやりながら、次号の2面を愉快なものにしたいと思うておりますでえ。以上編集屋のひとりごと。

## 可部高校と文教女子高で

### フラワー フェスティバルに参加

今年のフラワーフェスティバルは若者のパワー溢れる行進が見られます。

昨年は夢街道の皆さんが中心で、古式豊かないでたちで歩きましたが、何せ衣装が不足して大勢の人が参加できず「ちょっと淋しかったのお」と感じた人もあったようです。

今年は、大勢のメンバーで賑やかにやります。横川・祇園・可部それぞれが30名の隊列を組んで参加。しんがりを担当するのが可部の若者たちです。スタートは午後2時少し前。みんなで応援をお願いします。



# 可部カラスの会

第100号 2006.5.15

事務局 安佐北区亀山南二丁目1-3

Tel814-0162(寺本)

karasu@ms9.megaegg.ne.jp

http://www.ha.dion.ne.jp/~karasukb/

## カラスの企画 2題

### 写真とビデオで参加

### 市民病院 健康祭り

春の恒例行事、安佐市民病院「健康まつり」にカラスは今年も参加することになりました。

今年の主題は「**まち げんき**」、副題として「**えがお、こころ、すこやか**」としました。

今年も通路にラティス 6 枚を立てて、主題のまちづくり活動の写真を展示します。

副題テーマに沿って、当日、会場内の様子をデジカメで撮影し、速報写真として展示する予定です。

なお、ブースでは広島市西区・安佐南区・安佐北区が一体となって取り組んだイベント「太田川結納川下り、かよこの嫁入り祭可部パレード、可部町めぐり」などの、ビデオを上映します。

もちろん、お茶のサービスもあります。どうぞ気楽に立ち寄ってください。

健康祭りも今年で 3 年目。だんだん地域の人たちが集まって、健康祭りが地域の交流の場として広がりを見せてくれると確信しています。

### ガラスのぼんぼり 百八つ

### 大文字の灯を愛でつつ語ろうよ

昨年の体験を活かして、今年は根の谷川の左岸に大文字の灯を祝う百八つの火を灯すことにします。

当日の準備と効果を確認するため、定例会でテスト実施を決定。

有志が 13 日午後 6 時半、寺山橋に集合して、試験を行いました。昨年同様、電池を使用していましたが、思わしい結果になりません。

やむを得ず今回は金魚鉢風のガラスのできた器にロウソクを浮かべる方法にします。

竹筒よりも光がよく届き、川土手沿いに 108 個、縦に並べて点灯。その延長線を見上げると、大文字が見える。という構想です。

また、土手には雑草が生い茂っており、事前に草刈の作業も行う予定。

当日は入江邸で「町屋コンサート」も開かれる予定ですから、いろんなイベントが重なりますが、みんなが気持ちを一つにして、楽しむことができるといいですね。

### 定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

4月26日(水) 参加者

・フラワーフェスティバル

・可部から 35 名・文教は独自のダンス披露

・夢街道企画のまちめぐり

・企画部を設置。カラスからも参加。

・事務局を登録。カラスは共催の位置づけ。

・二宮さんのたたら扱

・5月20日(土) 時間の取れる人が動く

・改定中の H・P のチェックを

・安佐市民病院健康祭り

・次回定例会で協議。新澤 素案を作成

・贗金プロジェクト

・中野案を共用・分担しながら進行。

・10 年振り返りプロジェクト

・代表文教へ。懇談会、先ずお願いから

・可部駅西口オープニングプロジェクト

・榎の木物語の芝居化

・可部の灯りプロジェクト 遠原 試作

5月10日(水) 参加者 13 名

・たたら運搬 事前の段取りを...

・にせ金プロジェクト

・中野 経過を報告して了承。更に前進を

・新町商店街から

・武吉選び・T シャツプロジェクト進行中

・永井邸改築

・加納プロジェクトが動き出した

・可部の灯りプロジェクト

・18 日現地で検討会・13 日 18 時半上原橋

・屋台は代表が企画

・安佐市民病院「健康祭り」5月27日(土)

・新澤案(詳細計画)により担当を決定



# 可部の話題 三つ

## フラワーフェスタに文教高校

今年のフラワーフェスティバルは「横川・可部・祇園」と、三つのグループで行進しました。

可部は第二グループで、文教女子高校ダンス部の皆さん17名が独自の振り付けをした、あでやかな踊りを披露。会場の皆さんから暖かい拍手を浴びました。グループのしんがりに夢街道の皆さん9名が、夢街道の幟をもって行進して可部をアピール。4月末、急逝された広島経済大学の吉沢先生のシールを胸につけての行進でした。



パレード終了後、参加した3グループで、エールを交換して、快い汗を拭いながらの散会となりました。もちろん、三代目のかよこ（可部三丁目、竹本律子さん）もバスとともに行進に参加してくれました。

## ただいま家屋再生中 永井邸

ただいま家屋改築中につき、旧道側に養生シートがかけられています。築後120年にもなる永井邸、今でも古い佇まいを残して、可部を訪れる人たちが関心を持つ家屋ですが、道路の雨水を車が跳ねて、玄関口の柱や土台、格子戸の痛みが激しくなってきたので、敷居から取り替えることに。さらに剥き出しでセメントの敷居も御影石にと、和風の佇まいに修復されますが、これも依頼主の“古い可部の町を残したい”との願望と推察されます。



もう一つ、アルミサッシの玄関戸も取り替え、ガスボンベ・メーターも格好よくカバーをかけ、エアコンの室外機も裏側へ移される模様です。

表の格子を毎日掃除されることに触れると、「毎日だからできるんでしょう。一度にやると大変でしょうが…」と、にっこり微笑まれる奥さん。

すべてが「景観を整えて、皆さんに町の良さを見てもらいたい」という気持ちの現われでしょうね。

## 三代目こそ 可部のかよこ

代3代目の“みそ（ミス）かよこ”は可部の女性でした。竹本 律子さん。昭和49年可部高校卒のぴちぴちギャル。「音楽を聴くこと」が趣味、友達とバイクのツーリングも好きという、しとやかな中にも活発なところが垣間見えます。

今は接客マナーを身に着けたいとか。



ちなみに“みそかよこ”とは初代のかよこの年代が三十路だったから。軽い気持ちのジョークです。みんなと一緒に楽しみましょうね。

### カラスのスケジュール等

#### カラスの定例会

5月	24日（水）
6月 14日（水）	28日（水）

#### カラスのイベントほか

5月 27日（土）	安佐市民病院 健康祭り
〃	カラスの灯り点灯
〃	入江宅 町屋コンサート

## 100号を迎えました 皆さんの応援が力です

今回カラスの会報が100号を迎えました。皆さんの暖かい応援に力をもらって活動してきた10年、（会報は平成9年4月から発行開始）会報は皆さんとの会話のなかからここまで続きました。会報を手渡すとき、大勢の皆さんから笑顔と“がんばって”の声に元気をいただきました。これからもカラスは皆さんとともに歩み続けたいと考えます。

可部カラスの会 代表 友広 大造